



あさのちゃんねる

vol.30

2019年 夏号
(年4回発行)

特集

「傷跡を残さない、目立たせない！
QOL(生活の質)を高める
形成外科の治療」

形成外科部長
池田 医師 インタビュー



連携登録医のご紹介

たきの整形外科クリニック

院長 滝野 哲也 先生



今の時期気になる
熱中症対策についても
特集しています！

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

傷跡を残さない、目立たせない！ QOL(生活の質)を高める 形成外科の治療

「傷跡を目立たせないこと」を目指し、機能だけではなく見た目を正常に近い状態に回復させる形成外科。これまで多くの手術を執刀してきた池田医師に形成外科の治療や対象となる疾患について伺いました。

機能はもちろん 見た目の再建を目的とした外科

形成外科とはその名のとおりに外科系の専門領域で、正式には形成再建外科といいます。身体に生じた組織の異常や変形、欠損に対して、機能だけではなく整容的(見た目)にも正常な状態に再建することを目的としています。よく混同されやすい整形外科との違いは、整形外科が首から下の骨や関節、脊椎など運動器の疾患を主に扱うのに対し、形成外科は外表面、つまり皮膚や軟部組織の疾患を扱います。見た目の回復が重要な顔面の骨折も形成外科の領域です。皮膚の腫瘍や潰瘍は皮膚科でも、形成外科でも扱っていますが、高度なテクニックが必要な再建や、顔面の手術など見た目の回復が重要なケースは形成外科が担当します。例えば、皮膚がんを切除する場合、腫瘍の端から3~4cm離して大きく切除するため、大きな傷口をできるだけ目立たなくする形成外科のテクニックが必要になります。

形成外科が扱う疾患は幅広く、頭部から手や足の先まで、身体の表面を中心に、至る所の病気やけがを治しています。具体的に疾患を挙げると、切り傷などの外傷、一般的にやけどと言われる熱傷、鼻骨骨折といった顔面骨骨折、ホクロを含めた皮膚の良性及び悪性腫瘍、母斑、血管腫、みみずばれのようなケロイドや肥厚性瘢痕、先天性異常である多指(趾)症、小耳症、口唇口蓋裂などがあります。ケロイドや瘢痕など疾病によっては外科的手術をせず、薬物治療を選択できる場合もあります。

形成外科部長

いけだ かずたか

池田 和隆

日本形成外科学会認定医
日本形成外科学会専門医
日本体育協会公認スポーツドクター

趣味・健康法

家庭菜園、プログラミング、仲間と楽しくお酒を飲む

診察日

月~土曜

座右の銘

知は力なり

がんなど腫瘍切除後の再建手術も形成外科の範疇で、人工乳房による再建も2013年に保険適用になりニーズが高まっています。乳房再建手術に関しては、残念ながら当院は認定病院ではありませんので、県内の認定病院をご紹介します。また、近年では、まぶたを引き上げる力が弱ってしまう眼瞼下垂症、がん治療の後遺症としてリンパの流れが停滞し、腕や脚がむくむリンパ浮腫、顔面神経麻痺においても形成外科で治療がなされるようになりました。



皮膚がんや顔面骨骨折など 幅広い疾患を扱う

当院には日々、幅広い年齢層の患者さんが来院されます。抱えている疾患もさまざま、私は年間およそ300症例の手術を行っています。地域のクリニックなど診療所では対応できない手術や治療もあるため、かかりつけの医師から紹介された患者さんもいらっしゃいます。また、石川県内に形成外科を設置している総合病院が限られているため、セカンドオピニオンの患者さんもいらっしゃいます。疾患の中でも多く扱っているのが皮膚の腫瘍や外傷です。鼻骨骨折は昨年、およそ15例の手術をしました。スポーツでの接触による外傷や転倒、事故などさまざまな理由で骨折された患者さんが来院され、緊急搬送される方もいます。

総合病院の形成外科の特徴は他科と連携し、治療を行うことです。例えば、耳鼻科で行う甲状腺の手術では最後の縫合を形成外科が担当し、傷を目立たせないようにしています。傷口を皮膚の表面ではなく皮下組織で縫い合わせる皮下縫合という処置を行うことで、術後、首の傷跡を目立たなくすることが可能です。

医師と患者さんは常に対等、 すべての人に全力を尽くす

私は金沢出身、金沢育ちです。自治医科大学を卒業後、これまで多くの病院で働いてきました。思い出深いのは、30年ほど前、能登半島の舳倉島に赴任した際、海岸のテトラポットで足をはさんでしまった患者さんをヘリコプターで金沢の総合病院へ搬送したことです。今でこそ石川県でもドクターヘリが運航していますが、当時はありません。その日は船便が終わっていたため、緊急事態であることを島の区長に伝えてもらい、自衛隊のヘリコプターに出動してもらいました。離島での勤務は科を越えてさまざまな疾患を診なくてはならないため、総合医としての能力が鍛えられましたね。近年の活動としては県のスポーツドクターの理事をしており、国民体育大会やマラソン大会に参加しています。日本陸上競技選手権大会ではドーピングドクターをしたこともありました。医師としてさまざまな体験ができることは楽しいです。私が医師になった理由は、人を相手に仕事があったからです。研修医時代、ローテーションで各科を回り、母指多指症の手術を見学したことをきっかけに形成外科の道に入りました。これまでさまざまな患者さんとの出会いがありました。以前、勤めていた病院で担当していた患者さんの中には私の異動先まで通院してくださった方もいました。患者さんと接する時に心がけていることは誰に対しても分け隔てなく接することです。医師と患者さんは常に対等であるべきで、すべての患者さんに全力を尽くしたいと思っています。傷跡など気になる症状があれば、当科をお気軽に受診してください。



形成外科は傷や変形をきれいに治すことを主な目的とし、顔や手足など身体表面のけが、顔面骨骨折、やけど、あざ、皮膚腫瘍、がんの切除・再建、乳房再建および美容医療などについて専門的な知識と診療技術を持ち、これらの領域に関して適切に対応する診療を行っています。

形成外科で治療を行っている疾患紹介 こんな病気を治します!

① 新鮮外傷、新鮮熱傷：すり傷・切り傷・やけど

外傷、熱傷をきれいに治すためには、初期の治療がとても大切です。けがをした場合は、すみやかに当院への受診をお勧めします。



② 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷：顔の骨折やけが

治療は、骨折でずれた骨を元の位置に戻し固定するために手術が行われますが、部位によって方針が若干異なります。鼻骨のみの骨折の場合は、皮膚を切開しない手術で治療することが可能です。それ以外の頬骨骨折などの治療には、手術に際し切開が必要となる 경우가多くなります。

③ 先天異常：生まれつきの顔や手足などの異常

④ 母斑、血管腫、良性腫瘍：あざ、赤いあざ、青いあざなど

いぼ様あざ(脂腺母斑、表皮母斑)、皮膚のできもの(粉瘤、脂肪腫、石灰化上皮腫、るいひのうほう類皮嚢胞)などがあります。治療は、切除する手術が一般的ですが、頭に出来ることの多い脂腺母斑では、皮膚に余裕がないため、専門的な工夫が必要になることもあります。表皮母斑の場合、レーザーなどを使って母斑を削り取るような手術を行うこともあります。「脂肪のかたまり」とよくいわれるものには主に粉瘤と脂肪腫があります。なるべく腫れる前に手術で取り除くことが望ましいと考えられています。

⑤ 悪性腫瘍およびそれに関連する再建：皮膚がんの切除・再建

ここ10年の間に、乳がんの手術方法が進歩し、できるかぎり左右対称の乳房を再建することが可能になってきました。

(1)人工乳房による再建……特定の人工乳房を用いる場合、健康保険が適用されます。当院では施設認定を受けていないため、人工乳房による再建に関しては県内の認定病院をご紹介します。組織拡張器(エキスパンダー)を併用する場合と併用しない場合があります。併用する場合にはシリコン製の風船のようなものを胸の筋肉の下に留置し、徐々に皮膚皮下組織を乳房の形に膨らませて人工乳房に入れ替えます。

(2)自家組織による再建……患者さん自身の身体の皮下脂肪の豊富な部分を胸に移植する方法です。自家組織による再建でも、組織拡張器を併用する場合があります。自家組織の移植法としては、
●腹部の皮下脂肪を利用する腹直筋皮弁術 ●背中やわき腹の皮下脂肪を利用する広背筋皮弁術
の2つが代表的な方法です。

この手術法の利点は自分の組織で再建されるため、違和感がなく体型に応じて変化してくれることです。しかし、他の部位から組織が移植されるため、胸と他の部位に傷跡が残ります。



⑥ 瘻痕、瘻痕拘縮、肥厚性瘻痕、ケロイド：傷跡、ケロイドの治療

赤くみみずばれのように盛り上がる傷跡は、一般的に「ケロイド」と思われることが多いですが、専門的にはケロイド・肥厚性瘻痕・肉芽腫・成熟瘻痕・瘻痕拘縮といったものの可能性があり、それぞれ治療法が異なります。

⑦ 褥瘡、難治性潰瘍：床ずれ、皮膚潰瘍の治療

褥瘡は「床ずれ」とも呼ばれ、身体の骨突出部で皮膚や皮下の組織が自分の体の重さで圧迫されることによって局所の血流が遮断され、その部位の組織が壊死に陥り、皮膚潰瘍を生じたものです。

当院では、形成外科医師、看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師等チームで治療しています。褥瘡部への荷重を軽減して血流の改善を図り、2時間毎に規則的な体位変換を行い、褥瘡創面が長時間ベットと接触しないようにしています。エアーマットや体圧分散マットレスを使用して荷重の分散を図ることも有効です。全身性の病気があって、栄養状態が悪い場合などは、傷の治りが悪くなるため、栄養の改善を図ることも重要です。

⑧ 美容外科：しみの治療

当院では、毎週木曜日の午後・予約にてトレチノイン、ハイドロキノンを使用した、しみの治療を行っています。

受付時間

月～土曜日 8:30～11:00

※午前だけの診察となっています

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市疋田の『たきの整形外科クリニック』をご紹介します。

平成30年5月15日に、たきの整形外科クリニックを開院いたしました。

開院前は、金沢大学附属病院整形外科にて脊椎外科を専攻し、関連病院にて骨折などの外傷、専門である脊椎疾患、変形性関節症などの関節疾患、スポーツ外傷など手広く診療してまいりました。

特に高齢化社会を迎えた最近では、骨粗鬆症に力を注ぎ開院前は、骨粗鬆症性椎体圧迫骨折に対する手術、経皮的椎体形成術を年間約50例行っていました。今後、骨粗鬆症の早期発見、早期治療を推進し、地域住民の皆様の健康寿命の延伸に努めたいと思っております。

浅ノ川総合病院さんには、手術的治療が必要な症例はもちろん、他科の先生にも大変お世話になっております。今後とも地域の基幹病院としての、浅ノ川総合病院さんと連携を深め、地域医療に貢献したいと考えております。何卒よろしく願いいたします。



クリニック外観



院長 滝野 哲也 先生

たきの整形外科 クリニック

診療科：整形外科、リハビリテーション科

専門領域：脊椎脊髄外科、整形外科全般

略歴：石川県立金沢泉丘高等学校卒業

金沢大学医学部卒業

金沢大学整形外科入局

平成30年5月 金沢市疋田町に開業

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	/	○	○	○	/
14:00~18:00	○	○	/	○	○	/	/

※土曜日のみ9:00~13:00

休診日：土曜日午後、日曜日、祝日、水曜日

住所：〒920-0003
石川県金沢市疋田2丁目46番
電話：076-258-9777
駐車場：あり
アクセス：北鉄バス 疋田東下車 徒歩1分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

熱中症対策

原因と症状

☑ 水分と塩分の不足が原因

夏は気温とともに体温も上昇するので、体は発汗によって体温を下げようとします。その汗には水分だけでなく塩分も含まれており、この両方が失われることで脱水症になります。脱水症を放っておくと、熱中症、熱射病へと症状が移行していきます。熱中症とは気温の高い環境で生じる健康障害の総称です。体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、倦怠感、けいれんや意識障害などの症状が起こります。



☑ 熱中症の分類と対処法



重症度Ⅰ度 ▶▶ めまい・立ちくらみ・こむら返り・大量の汗

＜対処法＞ 涼しい場所へ移動・安静・水分補給

重症度Ⅱ度 ▶▶ 頭痛・吐き気・体がだるい・体に力が入らない・集中力や判断力の低下

＜対処法＞ 涼しい場所へ移動・体を冷やす・安静・十分な水分と塩分を補給。症状が改善されれば受診の必要なし。水分を自力で摂取できない場合や症状に改善が見られない場合は受診が必要。

重症度Ⅲ度 ▶▶ 意識障害・けいれん・運動障害

＜対処法＞ 涼しい場所へ移動・安静・体が熱ければ冷やす。ためらうことなく救急車を要請。

☑ 熱中症を予防するために

日差しを避ける・熱気を逃がしやすい服装にする・こまめな水分補給



食べ物でも熱中症対策！～簡単熱中症予防レシピ～

きちんと食事を摂ることも熱中症予防になります。失われた水分と塩分を補給すると同時に熱中症になりにくい体質を作りましょう。基本は毎日の規則正しい食事です。そして疲労回復に働くビタミンB1や体内の酸化を抑えてくれるビタミンC、疲れの原因となる乳酸の発生を抑えてくれるクエン酸を積極的に摂ることも心がけましょう。

おすすめ 食材

ビタミンB1 ▶▶ 豚肉 大豆製品 モロヘイヤ 玄米 きのこと

ビタミンC ▶▶ 赤ピーマン 黄ピーマン じゃがいも キウイフルーツ アセロラ

クエン酸 ▶▶ 梅干し 酢 レモン グレープフルーツ オレンジ



＜栄養素(一人分)＞
エネルギー 375kcal / たんぱく質 19.6g
脂質 19.6g / 炭水化物 28.0g

豚肉とパプリカの黒酢炒め

＜材料(2人分)＞

- ・豚肉 …………… 160g
- ・赤パプリカ ……… 30g
- ・黄パプリカ ……… 30g
- ・ピーマン …………… 30g
- ・片栗粉 …………… 大さじ2
- ・ごま油 …………… 大さじ2
- ・オイスターソース 小さじ1
- ・醤油 …………… 大さじ2
- ・黒酢 …………… 大さじ2

＜作り方＞

- ① 豚肉に片栗粉をまぶす。パプリカ、ピーマンは太めのせん切りにする。
- ② ①をごま油で炒める。
- ③ Aを入れて調味料が絡むようになるまで煮詰める。

A

データで見る 浅ノ川総合病院

昨年度、当院を受診した患者さんの数や、診療行為の実績、診療した疾患の上位などを掲載いたします。

1日平均外来患者数



1日あたり外来を受診した患者さんの数です

1日平均入院患者数



1日あたり入院された患者さんの数です

救急車搬入数(年間)



救急車で搬入された患者さんの数です

紹介患者数(年間)



他の医療機関から紹介された患者さんの数です

逆紹介患者数(年間)



他の医療機関に紹介した患者さんの数です

手術件数(年間)



入院手術と外来手術を合わせた件数です

放射線治療患者数(年間)



ガンマナイフ・ノバルスによる放射線治療を行った患者さんの数です

透析患者数



当院で透析を行っている患者さんの数です

診療科別主要手術

診療科ごとに件数の多かった手術を表示します

- 眼科** …… 白内障手術／硝子体基離断術
増殖性硝子体網膜症手術
- 内科** …… 内視鏡的大腸ポリープ切除術
内視鏡的胆道ステント留置術
- 外科** …… 腹腔鏡下そけいヘルニア手術
腹腔鏡下胆のう摘出術
- 泌尿器科** …… 経尿道的尿管ステント留置術
- 整形外科** …… 経皮的椎体形成術
骨折観血的手術(大腿)

疾患別患者数ランキング

当院を退院した患者さんの数が多い順に並べています

- 1位** …… 白内障
- 2位** …… 脳腫瘍
- 3位** …… 大腸ポリープ
- 4位** …… 誤嚥性肺炎
- 5位** …… 脳梗塞
- 6位** …… 肺炎等
- 7位** …… てんかん
- 8位** …… 腎臓・尿路の感染症
- 9位** …… 股関節・大腿近位の骨折
- 10位** …… 結腸の悪性腫瘍

(平成30年度実績)



地域の方々に当院についてさらに深く知っていただきたいという意味をこめて、臨床指標などの情報をホームページ上で公開しています。ぜひご覧ください。

行事レポート

「利家とまつ」金沢城リレーマラソンに参加しました！

令和元年5月12日(日)、金沢城公園で開催された、2019春の陣「利家とまつ」金沢城リレーマラソンに参加しました。

絶好のマラソン日和に恵まれ、今年も職員はお揃いの「あさのちゃんTシャツ」等を身にまとい、チーム一丸となって完走しました！あさのちゃんも応援団長として会場を盛り上げました。



「春の健康フェア2019」開催しました。

令和元年5月16日(木)・17日(金)に「春の健康フェア」を当院で開催しました。

健康チェックでは血圧、体重、身長、骨密度、血流、血糖値を測定し、大好評に終わりました。看護師、管理栄養士による健康相談・栄養指導では、日頃の生活習慣や食事などについて、熱心に聞かれる来場者の姿が多く見受けられました。

公開健康講座では内科の澤村俊孝医師から糖尿病について、船戸元子薬剤師からお薬のお話、西田雅美栄養士からは糖尿病の食事療法について講演を行いました。



今後も様々なイベントを通じて地域の皆様と交流し、「地域から選ばれる温もりのある病院」を目指していきます。

お知らせ

✿ お盆休みのお知らせ

令和元年8月15日(木)、16日(金)はお盆休みにつき、外来診療を休診いたします。
(救急の場合は救急外来で対応します)

✿ 「病院祭2019」を開催します。

令和元年10月12日(土) 10:00~14:00 浅ノ川総合病院 本館1階

✿ 「がんサロンせせらぎ」いつでも自由にご利用いただけます。

東館1階 がん相談支援センター 9:00~17:00(土曜は12:30まで/第2土曜、日・祝休み)
毎月第4木曜日 12:30~講義室にてイベントも開催しています。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:<http://www.asanogawa-gh.or.jp/>
メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

